

令和3年度（2021年度） 全国学力・学習状況調査

豊中市キャラクター マチカネくん



豊中市の結果概要

今年5月に実施された全国学力・学習状況調査について、豊中市の児童・生徒のみなさんの調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせいたします。

令和3年（2021年）10月 豊中市教育委員会

●調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

●調査内容

①教科に関する調査※

小学校：国語、算数 中学校：国語、数学

②質問紙調査（児童・生徒に対する調査、学校に対する調査）

●実施日 令和3年（2021年）5月27日（木）

●対象学年

小学校 第6学年の全児童

（本市の参加児童数 3,606人）

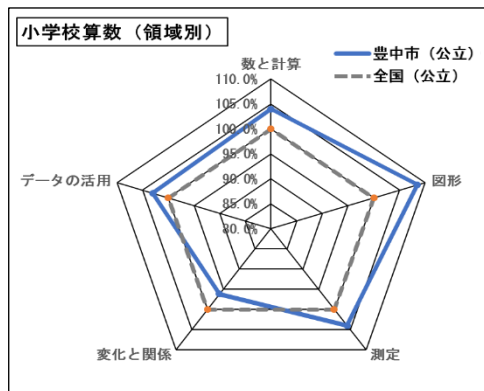
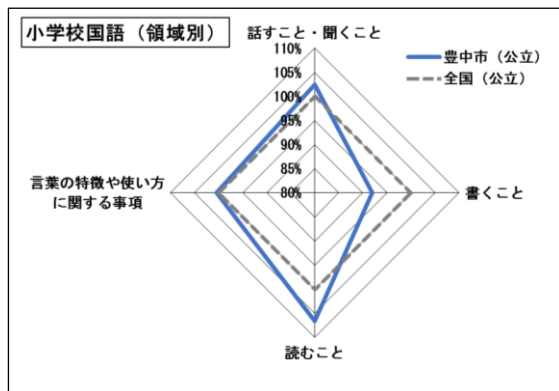
中学校 第3学年の全生徒

（本市の参加生徒数 2,920人）

※平成31年度より従来の主として「知識」に関する問題（A問題）と主として「活用」に関する問題（B問題）の区分が見直され、①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等と、②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容が一体的に問われました。

小学校 領域別平均正答率

※ 軸の目盛はグラフにより異なります。※全国の平均正答率を100%としています。

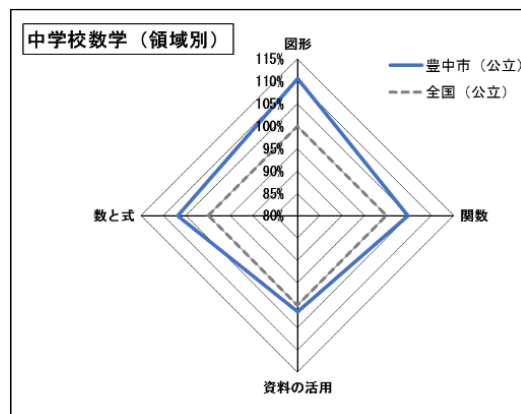
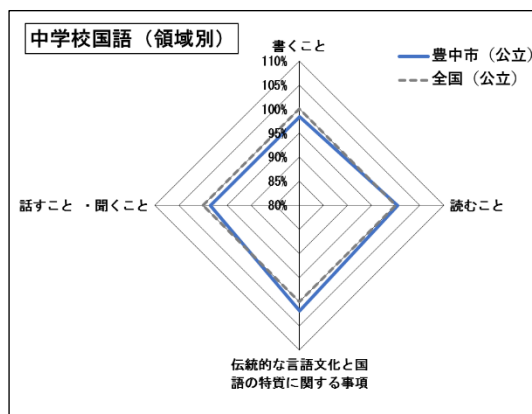


小学校の国語においては、「読むこと」の領域の平均正答率（以下、正答率と表記）が高くなっています。一方、「書くこと」の領域の正答率が低くなっています。算数においては、「図形」の領域の正答率が特に高く、「数と計算」「データの活用」「測定」の領域の正答率が高くなっています。一方、「変化と関係」の領域の正答率が低くなっています。

中学校 領域別平均正答率

※ 軸の目盛はグラフにより異なります。 ※全国の平均正答率を100%としています。

中学校の国語においては、「どの領域においても全国平均とほぼ同じ正答率となりました。数学では、「図形」の領域の正答率がとくに高く、「数と式」「関数」の領域において正答率が高くなっています。「資料の活用」の領域については、全国平均とほぼ同じ正答率となっています。

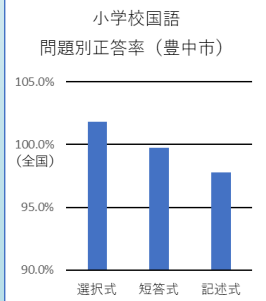


— 学力・学習状況調査の結果概要 —

小学校 国語

	豊中市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	57.1	57.2	58.4
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	79.8	80.6	82.2
国語の授業では、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	59.3	62.8	63.8
国語の授業では、目的に応じて自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	66.0	69.6	71.6
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	69.8	70.8	74.3

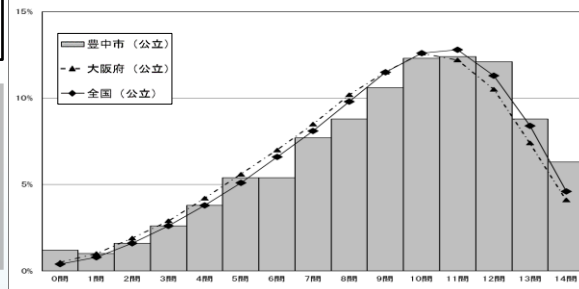
*児童質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

小学校国語 正答数分布

正答数の分布は、総問題数14問中、11問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することは、たいへんよくできています。

『問題番号2(一):面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選択する』

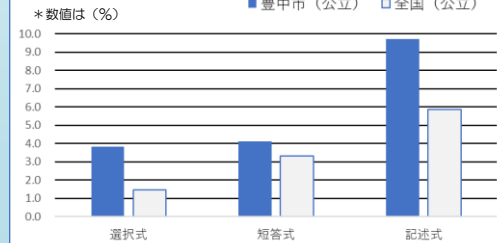
◆目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題があります。

『問題番号3(二):丸山さんの「文章の下書き」の中の___部を(西田さんの話)を用いて詳しく書き直す。』

小学校国語 問題別正答率と無回答率

小学校国語においては、全国平均と比べて「選択式」の正答率が高いものの、「記述式」の正答率が低くなっています。また、無回答率は、「選択式」「短答式」「記述式」のいずれも全国平均より高くなっています。特に「選択式」「記述式」の無回答率が高いことが課題です。

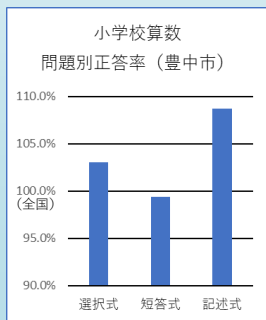
小学生国語 問題別 無回答率



小学校 算数

	豊中市	大阪府	全国
算数の勉強は好きですか	66.6	67.7	67.8
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	70.7	71.5	73.9
算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.1	81.4	82.7
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	87.5	88.3	89.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.9	90.1	91.9

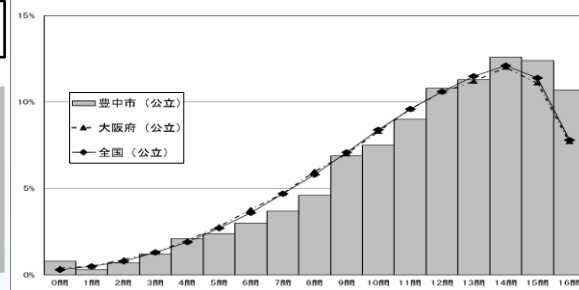
*児童質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計(%)



*全国の平均正答率を100%とした場合の数値。

小学校算数 正答数分布

正答数の分布は、総問題数16問中、14問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇複数の図形を組み合わせた平行四辺形について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述することは、たいへんよくできています。

『問題番号2(3):二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く』

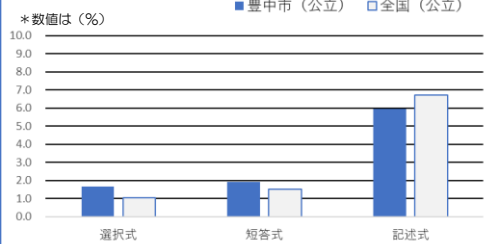
◆速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことに課題が見られます。

『問題番号1(5):分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く』

小学校算数 問題別正答率と無回答率

小学校算数においては、「選択式」「記述式」の正答率が高いものの、「短答式」の正答率が低くなっています。また、無回答率は「記述式」については全国平均より低くなっているものの、「選択式」「短答式」については全国平均より高いことが課題です。

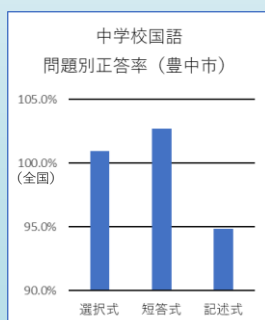
小学生算数 問題別 無回答率



中学校 国語

	豊中市	大阪府	全国
国語の勉強は好きですか	57.5	60.0	60.8
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	82.4	87.1	88.7
国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	76.7	80.6	81.8
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	60.1	62.4	61.3
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	72.6	72.9	74.6
国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか	75.2	74.4	77.0

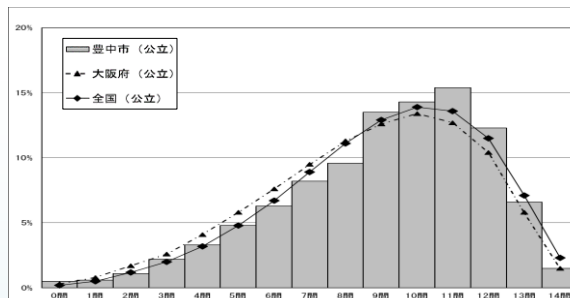
＊生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計（％）



＊全国平均正答率を100%とした場合の数値。

中学校国語 正答数分布

正答数の分布は、総問題数14問中、11問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することは、おおむねできています。

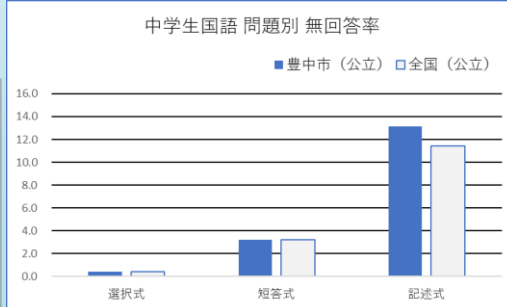
『問題番号3三：「反対の結果を呈出した」について、このことが分かる「黒」の様子を文章の中から抜き出す』

◆文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題が見られます。

『問題番号3四：「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く』

中学校国語 問題別正答率と無回答率

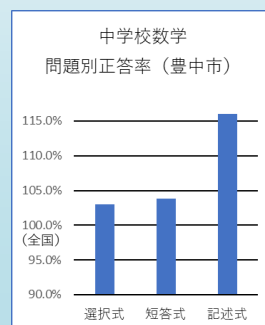
中学校国語においては、「選択式」「短答式」の正答率が高いものの、「記述式」の正答率が低くなっています。また、無回答率は「選択式」「短答式」については全国とほぼ同じであるものの、「記述式」については全国平均より高いことが課題です。



中学校 数学

	豊中市	大阪府	全国
数学の勉強は好きですか	61.5	57.7	59.1
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	47.2	49.0	50.6
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	77.1	74.4	75.8
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	81.5	82.0	83.5
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.3	80.7	86.6

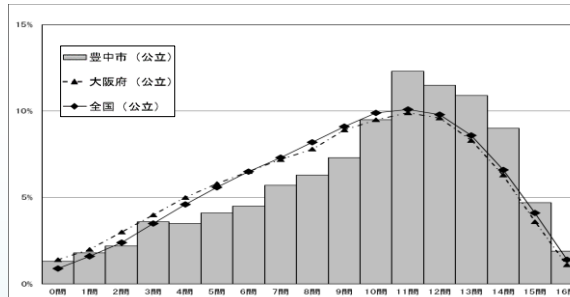
＊生徒質問紙「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の合計（％）



＊全国平均正答率を100%とした場合の数値。

中学校数学 正答数分布

正答数の分布は、総問題数16問中、11問を頂点とする右よりの山型を描いています。



◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することは、よくできています。

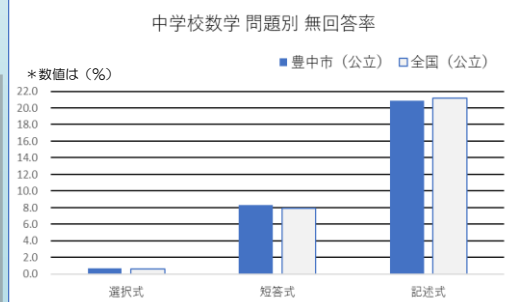
『問題番号6（2）：四角で4つの数を囲むとき、4つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する平行移動した図形を見て、移動した距離を求める』

◆相対度数の必要性和意味を理解することに課題が見られます。

『問題番号8（2）：2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ』

中学校数学 問題別正答率と無回答率

中学校数学においては、「選択式」「短答式」の正答率が高く、「記述式」の正答率が特に高くなっています。また、無回答率は全国平均とほぼ同じくらいの数値となっていますが、「記述式」無回答率が高いことが課題です。

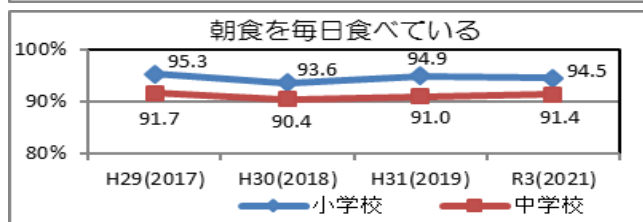
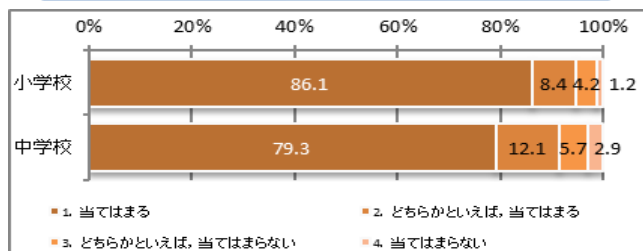


児童生徒質問紙調査から（小中比較・経年変化）

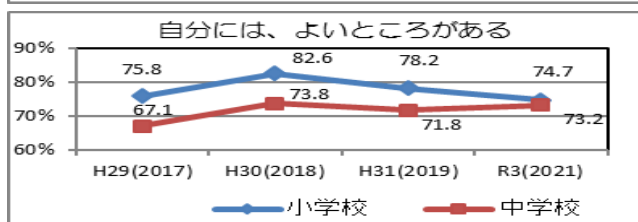
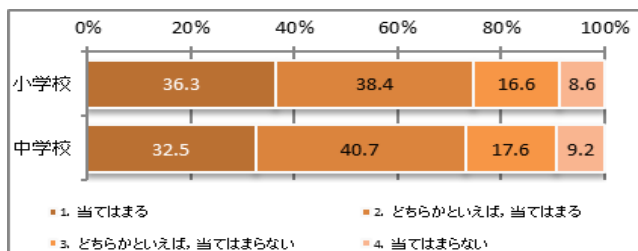
※アンケート調査において、その回答の結果と学力調査の結果に高い関係性が見られた項目について、今年度の状況と4年間の豊中市の変化（当てはまる・どちらかといえば当てはまるの合計）をグラフでまとめました。



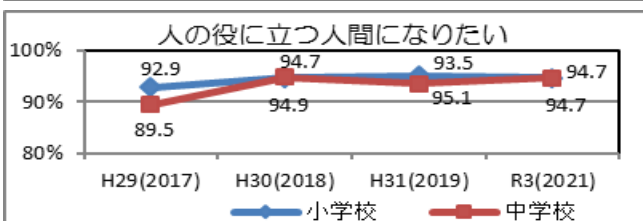
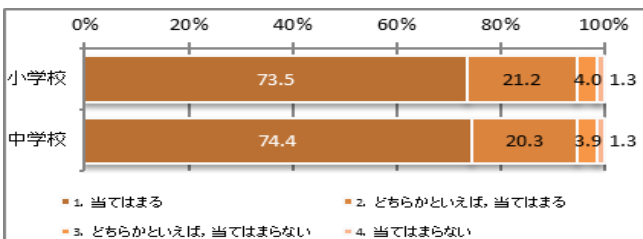
1 朝ご飯を食べている



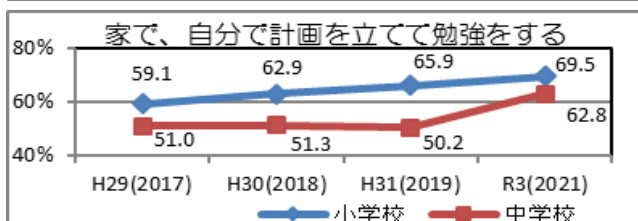
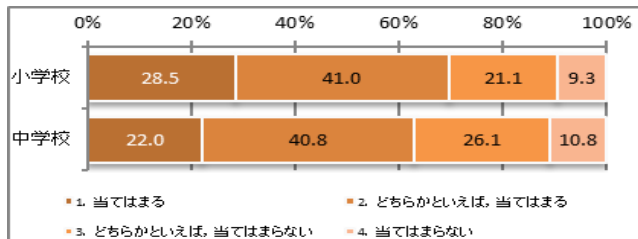
2 自分にはよいところがある



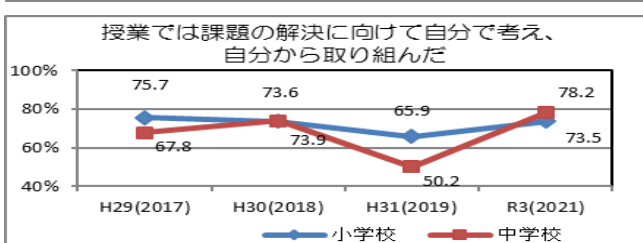
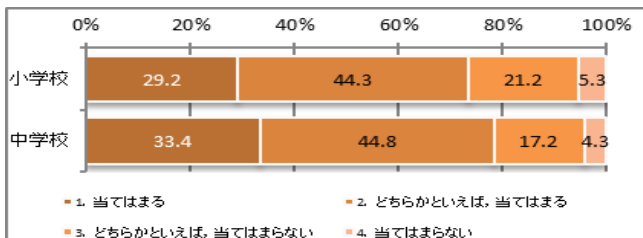
3 人の役に立つ人間になりたい



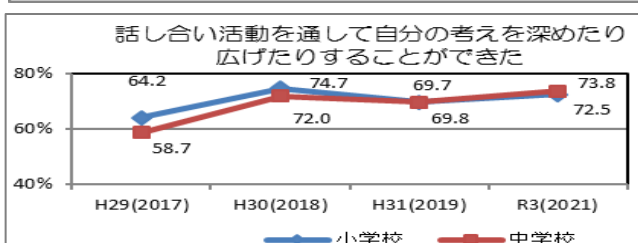
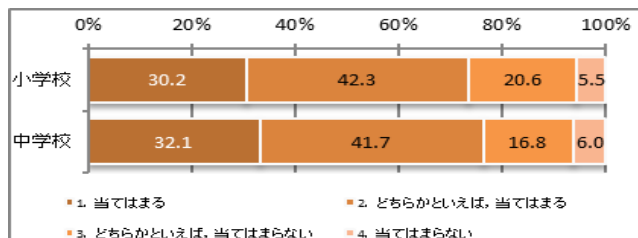
4 家で、自分で計画を立てて勉強する



5 前年度までに授業では課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んだ



6 前年度までに学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができた



*令和2年度（2020年度）の調査は実施されませんでした。

— 児童生徒質問紙調査から（全国・大阪府との比較） —



『挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等』、『地域や社会に係る活動』、『ICT を活用した学習状況』、『学習習慣、学習環境』などに係る質問項目について、全国・大阪府の結果と比較しました。

	内 容	対象	小学校	中学校
(1)	将来の夢や目標を持っている	豊中市	76.4	63.7
		大阪府	78.5	65.7
		全国	80.3	68.6
(2)	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	豊中市	79.4	78.5
		大阪府	81.6	82.0
		全国	84.3	84.2
(3)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	豊中市	96.4	94.1
		大阪府	96.6	95.4
		全国	96.8	95.9
(4)	今住んでいる地域の行事に参加している	豊中市	43.5	28.7
		大阪府	48.8	34.2
		全国	58.1	43.7
(5)	学校で、コンピュータなどの I C T 機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週 1 回以上使用している	豊中市	36.2	26.3
		大阪府	39.3	32.0
		全国	39.0	34.8
(6)	学習の中でコンピュータなどの I C T 機器を使うのは勉強の役に立つと思う	豊中市	92.2	89.9
		大阪府	93.2	90.5
		全国	94.5	93.2
(7)	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている	豊中市	74.1	71.9
		大阪府	74.9	71.5
		全国	78.3	74.6
(8)	普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 2 時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする	豊中市	45.4	61.4
		大阪府	53.7	66.6
		全国	49.4	57.0
(9)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1 日当たり 30 分以上読書をする（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	豊中市	39.6	24.5
		大阪府	33.6	23.9
		全国	37.4	28.9
(10)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	豊中市	66.2	61.2
		大阪府	69.4	63.8
		全国	73.5	69.8

※【数値について】○選択肢が『当てはまる』・『どちらかといえば、当てはまる』・『どちらかといえ、当てはまらない』・『当てはまらない』等と設定された質問は、『当てはまる』『どちらかといえば、当てはまる』と回答した割合を示しています。

※この調査結果は、学力や学習状況の一部分であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。また、これまで経年変化をグラフに表すことができた質問項目であっても、今年度は質問項目から削除されるなど、グラフに表すことができない場合があります。



— 学力・学習状況調査の結果から—

■国語について■

国語では記述式の問題で回答率が低いこと、目的や意図に応じて理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書く力や文章全体の構成を考える力などに課題が見られます。一方で、小学校国語では、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握するなどの「読む力」の部分、中学校国語では、事象や行為などを表す多様な語句について理解するなどの「言語についての知識・理解・技能」の部分で、全国平均と比較して正答率が高い結果となりました。

■算数・数学について■

算数・数学では速さなどの単位量あたりの大きさを求めたり、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ったりするなどの変化と関係、関数の領域について課題が見られました。一方で、小学校算数では、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述するなどの「思考・判断・表現」する力、中学校数学では、具体的な場面で一元一次方程式を作ることができる「数学的な技能」や事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる「数量や図形などについての知識・理解」において、全国平均と比較して正答率が高い結果となりました。

— 児童生徒質問紙調査の結果から—



■小中比較・経年変化について■

小学校と中学校間で比較した6つの項目（4ページ目）においては、小中学校間で大きな差は見られませんでした。経年変化については、小学校・中学校において肯定的な回答が増えている傾向があります。

また、以下の質問項目においては、小中学校間で大きな差が生じています。

- 『将来の夢や目標を持っている』
- 『今住んでいる地域の行事に参加している』
- 『学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用している』
- 『普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする』
- 『学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり30分以上読書をする（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）』

■全国・大阪府との比較について■

以下の質問項目については、全国・大阪府との差が大きい結果となりました。

- 『将来の夢や目標を持っている。』
- 『自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている』
- 『今住んでいる地域の行事に参加している』
- 『学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の授業につなげることができる』
- 『学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる』